

県スキー技術選手権大会優勝
全日本スキー技術選手権大会へ

藤澤 利佳さん

ふじさわ・りか 32歳 安比高原



◎profile

昭和54年八幡平市（旧松尾村）生まれ。大学まで競技スキーを続け、平成15年から安比スキー&スノーボードスクールに勤務。SAJデモンストレーターに認定されている。血液型A B型のかに座。

自らの滑りに磨きかけ スキーの魅力伝えたい

ライバルには負けたくない。ピオンとして、全日本選手権に行くことができてほっとしている。

1月28、29日に雫石町で行われた県スキー技術選手権大会（技術選）、女子個人総合で見事連覇。全日本スキー技術選手権大会（3月6日）、長野（野県）の切符をつかみ、藤澤さんは安堵の表情を浮かべた。3歳からスキーを始め、中学校から競技スキーに取り組んだ藤澤さん。大学を卒業し、競技生活に区切りを付け、目

標を見失いかけたときに、技術選というものを知った。

タイムだけを競うレースと違い、ゲレンデのあらゆるコンディションに合わせて、いかにスピードを殺さず、きれいなターンを描くかなど、総合的な滑りを競うのが技術選。「ジャッジする人によつて見方も違い、奥が深い」と藤澤さんも話すように、レース経験者でも大会で入賞することは難しい。初めて出場した県選手権では、予選通過できず「とても悔しかった」という藤澤さんは、その当時働いて

いた会社を辞め、スキーに没頭できる環境を求めて安比スキー&スノーボードスクールに就職。人に教えるために滑りを勉強し、自らの技術を磨いていった。次の年から今年まで9年連続で予選を突破している。また、おとしには同スクールで働く弘之さんと結婚。お互い切磋琢磨し、昨年からは2年連続で夫婦での全日本選手権出場を決めた。技術選の聖地・白馬八方尾根で「納得できる滑りをした。決勝の舞台を滑る緊張感を味わってみたいが、まずは準決勝に進むことが目標」の藤澤さんは「スキーは私の人生の一部。年齢を重ねてもずっと続け、一人でも多くの人にスキーの楽しさを伝えたいですね」と夢を語った。

広報 **はちまんたい**
Mar.2012 No.146

CONTENTS

●目次

- 02 **Zoom Up** 人 藤澤利佳さん
- 03 **特集** 全国中学校スキー大会 絆をチカラに夢つかむ
- 08 **Sports** 各種ウィンタースポーツ 大会で市の選手大活躍
- 09 3月は自殺対策強化月間
- 10 **NEWS&INFORMATION**
アナログ放送は3月31日で終了／国道282号西根バイパス3月16日から一部開通／年度末と年度初めの日曜日に本庁舎の窓口臨時開庁／新しい市農業委員会長に松村勝彦さん選任／小山田邦男さん交通栄誉「緑十字銀章」受賞
- 12 **話題ピックアップ**
三ヶ田礼一杯市ジュニアスキー選手権大会／松川一の宮太鼓結成25周年記念演奏会 ほか
- 14 **福祉ネットワーク**
保健のひろば 環境のみらい 介護のココロ
- 15 **まちの企業探検隊**⑨
（南）八幡平精工
われらスポーツ少年団No.21
松尾中学校ソフトテニススポーツ少年団
- 16 博物館だより 図書館だより
- 17 よろこび おくやみ
人口の動き 交通事故件数など 広報クイズ
- 18 **INFORMATION** お知らせ
- 20 八幡平にしえの宝
フクジュソウ



今月の表紙

第49回全国中学校スキー大会は2月1日から4日まで北海道などで行われ、小林陵侑君（松尾3年）が大会史上2人目、県勢では初のジャンプ・コンバインド競技の2冠を達成しました。【写真＝1月23～25日に市で開かれた東北中学校スキー大会での小林君。関連記事3～8頁】



スペシャルジャンプ 優勝
コンバインド 優勝

小林陵侑 こばやし・りょうゆう
松尾3年 柏台三丁目



クロスカントリー女子クラシカル 3位
フリー 10位

土屋正恵 つちや・まさえ
安代3年 五日市2区

特集 全国中学校スキー大会

絆をチカラに 夢つかむ

2月1日から4日まで北海道などを舞台に開かれた第49回全国中学校スキー大会。

小林陵侑君（松尾3年）がスペシャルジャンプとコンバインド競技で優勝、

土屋正恵さん（安代3年）がクロスカントリー競技クラシカル3位、フリー10位入賞を果たした。

さまざまな人たちの支えをチカラに変え、全国の舞台上で夢をかなえた2人に話を聞いた。

（特集7頁まで）

